

(議事要旨 2) 企業会計基準委員会の最近の活動状況について

企業会計基準委員会 (ASBJ) の小野委員長より、日本基準を国際的に整合させる取組みを中心に、ASBJ の最近の活動状況についての報告が行われた。

その後、以下のとおり、基準諮問会議の委員より意見が出された。

- 公正価値測定のガイダンス及び開示の開発において、慎重な議論を重ねている結果、すでに公正価値測定に関する会計基準を適用している諸外国と比べて、国際的なリスクへの対応が遅れてしまうことを懸念している。すべての論点について慎重に検討するよりは、重要なところから優先して開発する方法も考えられる。
- 公正価値測定のガイダンス及び開示の開発を速やかに行うことに加え、金融商品に関する会計基準の開発に着手するか否かの検討も同時に速やかに行われることを期待する。
- 我が国におけるリースに関する会計基準の改訂に向けた検討に着手するか否かについて、仮に会計基準を改訂した場合には、財務諸表に影響があまり出ないような事業規模の大きくない企業や多額のリース取引を行っていない企業にとっても、ある程度の実務上の対応が必要となるため、このような会社におけるリース取引の実態を念頭に置いたうえで慎重に議論を進めてほしい。
- リースに係る資産及び負債の認識の検討においては、資産及び負債の過小計上に関する議論だけでなく、資産及び負債として認識する必要のないものまで過大に計上することがないように進めてほしい。

以 上